

蔵王の森の四季

～'19秋～



学校のシンボル「ヤナギ」がピンチ？

10月にはたて続けに接近した台風による影響で、県内外で大きな被害が出ました。学校はというと、東門脇のシンボルツリー「ヤナギ」の道路側に伸びた太い幹に大きなひびが入っていることが分かり、早速造園屋さんに伐採してもらいました。すると、何と幹の空洞化が進んでいたことが判明しました。学校の歴史を見てきたであろう「ヤナギ」には長生きしてほしいものです。

一方、森のモミジやトウカエデは、昨年よりもさらに遅れてやっと色づいたと思いきや、冬のような寒さの到来で落ち葉に……。秋はあっという間に終わってしまった感があります。



自然のままがいいのですが…樹木の剪定を実施

先頃、環境整備ボランティアの方、後援会長さん、保護者の方のご協力のもと、蔵王の森にある低木の剪定作業を行いました。これまでもヤナギやクルミなどの高木は市から委託された造園業者にやっけていただいておりますが、予算の関係などから植栽してまだ数年の若木や低木は伸びに任せた状態でした。蔵王の森創設時の「ありのままの自然の森に…」という訳には管理上いかないために、10月の学校運営協議会でも相談し今回可能な範囲で剪定作業を実施しました。

近年モミジ等の枯死が目立ち、今回数本伐採しました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



トウサワトラノオの保護 5年生に引き継ぐ！

11月の終わりに5年生が、採取した種子から育てた苗を、ポットに仮植しました。例年通り冬越しさせ、春先にガルテン『虎の尾』に植える予定です。

ところで、多年草であるはずのトウサワトラノオは、ここ数年ガルテン『虎の尾』に株を残しにくくなっています。新たな種子の発芽もみられません。土壌の関係でしょうか……。

5年生は、代々先輩から受け継いできたこの植物を守ってこうと活動を始めています。来春の開花に期待を込めて。

